

マンスリー・プロジェクト

新企画 Monthly Project

宮田慶子新芸術監督のもと、2010/2011シーズンの〈演劇〉が9～10月の『ヘッダ・ガーブレル』を皮切りにスタートしますが、今シーズンより、新たなプロジェクトが始まります。題して【マンスリー・プロジェクト】。リーディングあり、講座あり、トークショーありの、多彩なプログラムをご用意し、直近の演劇公演に多角的にアプローチいたします。

月に1度は、新国立劇場にお気軽にいらしてください。
入場は無料です。

9月

リーディング公演

ジョン・フォッセ作『スザンナ』

演出 | 宮田慶子
出演 | 七瀬なつみ / 青山眉子 / 田島令子

1月

演劇講座

彼が舞台をハダカにしたワケ
—演劇史と近代史の交差点でワイルダーを見る—

講師 | 水谷八也 (翻訳家・早稲田大学教授)
ゲスト | 『わが町』出演者 (ボーイズ&ガールズ)

10月

演劇講座

どこから始まる?
アメリカ演劇

講師 | 常山菜穂子 (慶應義塾大学教授)

2月

トークセッション

『焼肉ドラゴン』のハツ (心臓)

鄭 義信 (劇作家・演出家)
李 闘士男 (映画監督)
宮田慶子

11月

リーディング公演

T.ウィリアムズ
一幕劇から

演出 | 古城十忍 出演 | 演劇研修所研修生

3月

演劇講座

『ゴドーを待ちながら』
徹底解剖

講師 | 岡室美奈子 (早稲田大学教授)

12月

トークセッション

戯曲翻訳の現在

長島 確 [ヘッダ・ガーブレル] | 常田景子 [やけたトタン屋根の上の猫]
水谷八也 [わが町] | 岩切正一郎 [ゴドーを待ちながら]
宮田慶子

4月

ワークショップ

ゴドーを待ってみる?

講師 | 朝比奈尚行 (音楽家・演出家・俳優・脚本家)

5月 6月 7月 は、演劇講座 シリーズ「日本の劇」を予定しています。

8月 は、夏休み特別企画 子どもと親のワークショップを予定しています。

日時・会場・参加方法等は裏面をご覧ください。

お問い合わせ：新国立劇場 情報センター TEL 03-5351-3011(代)



新国立劇場

<http://www.nntt.jac.go.jp/play/>

NEW
NATIONAL
THEATRE
TOKYO

9月	9.30 [木] 7:00 10.2 [土] 7:00	小劇場
----	--------------------------------	-----

リーディング公演 ヨン・フォッセ作『スザンナ』

演出 | 宮田慶子 出演 | 七瀬なつみ / 青山眉子 / 田島令子

応募期間: 8/24 [火] ~ 9/20 [月・祝]

現代ノルウェーを代表する劇作家ヨン・フォッセが、イプセン夫人スザンナを描いたテレビドラマ(ノルウェー放送協会)をリーディング公演として上演します。三世代のスザンナによってイプセンとの生活が静かに浮かびあがります。

10月	16 [土] 2:30 23 [土] 2:30	5階 情報センター
-----	----------------------------	--------------

演劇講座 どこから始まる? アメリカ演劇

講師 | 常山菜穂子(慶應義塾大学教授)

応募期間: 9/14 [火] ~ 10/4 [月]

定員: 各回 50 名程度

オニール、ミラー、ウィリアムズが活躍する以前の19世紀は大衆娯楽の時代でした。メロドラマやショー、レビューといった華やかな世界はなぜ栄え、いつ近代劇へと道を譲っていったのか。アメリカ演劇史始めを紹介します。

11月	13 [土] 6:30 17 [水] 6:30	小劇場
-----	----------------------------	-----

リーディング公演 T.ウィリアムズ一幕劇から

演出 | 古城十忍 出演 | 演劇研修所研修生

応募期間: 10/12 [火] ~ 11/1 [月]

『風変わりなロマンス』『話してくれ、雨のように…』の2作品をリーディング公演として上演します。他者と理解し合うことの困難さ。人が根源的に抱える孤独。T.ウィリアムズが描き続けた普遍的なテーマに、若い俳優たちが挑みます。

12月	18 [土] 2:00	オペラパレス ホワイエ
-----	-------------	----------------

トークセッション 戯曲翻訳の現在

長島 確 [ヘッダー・ガーブル] / 常田景子 [やけたトタン屋根の上の猫]

水谷 八也 [わが町] / 岩切正一郎 [ゴドーを待ちながら] / 宮田慶子

応募期間: 11/16 [火] ~ 12/6 [月]

定員: 100 名程度

宮田芸術監督1年目シーズンの中心企画「JAPAN MEETS... 一現代劇の系譜をひもとく」で取り上げた記念碑的翻訳劇4作品の新訳に取り組んだ4人の翻訳家たちが集結。翻訳劇の魅力やそれぞれの翻訳秘話を楽しく語り合います。

※2回開催の場合は同じ内容です。

※やむを得ない事情により、日程・出演者等が変更になる場合があります。

2011. 1月	21 [金] 2:30 22 [土] 5:00	5階 情報センター 中劇場
----------	----------------------------	------------------

演劇講座

彼が舞台をハダカにしたワケ

— 演劇史と近代史の交差点でワイルダーを見る —

講師 | 水谷八也 (翻訳家・早稲田大学教授)

ゲスト | 『わが町』出演者 (ボーイズ&ガールズ)

応募期間: 12/14 [火] ~ 1/10 [月・祝]

定員: 21 日のみ 50 名程度

ワイルダーは一切装置のない裸舞台での「演技」を好みました。彼は何かもない空間に何を見たかったのでしょうか。彼が十代から書いてきた三分間劇なども視野に入ると、「良いお話」を越えて、未だに終われない「近代」の問題が見えてくるかもしれません。

2月	11 [金・祝] 5:30	小劇場
----	---------------	-----

トークセッション 『焼肉ドラゴン』のハツ (心臓)

出席者 | 鄭 義信 (劇作家・演出家) / 李 闘士男 (映画監督) / 宮田慶子

応募期間: 1/11 [火] ~ 31 [月]

劇作家・演出家の鄭義信と映画監督の李闘士男。演劇・映画・テレビとクロスオーバーに活躍する関西出身の二人が、『焼肉ドラゴン』のハツ (心臓) を大いにさばいてみせます。

3月	5 [土] 2:30 6 [日] 2:30	5階 情報センター
----	--------------------------	--------------

演劇講座 『ゴドーを待ちながら』徹底解剖

講師 | 岡室美奈子 (早稲田大学教授)

『ゴドーを待ちながら』の面白さはどこにあるのでしょうか。さまざまな舞台映像をお見せしながら『ゴドー』を多角的に分析し、「難解な不条理劇」というイメージとは異なるリアルな『ゴドー』に迫ります。

4月	16 [土] 時間未定 17 [日] 時間未定	地下2階 Cリハーサル室
----	----------------------------	-----------------

ワークショップ ゴドーを待っている?

講師 | 朝比奈尚行 (音楽家・演出家・俳優・脚本家)

『ゴドーを待ちながら』を題材に、パフォーマンス集団『時々自動』代表で、この作品への出演経験もある朝比奈尚行による、広く一般の方々向けのワークショップを行います。不条理演劇に、より親しめる楽しい時間です。

※4月のワークショップのみ申込方法が異なります。

※3・4月の詳細は決まり次第、ホームページ、チラシ等にてお知らせします。

5月 6月 7月 は、演劇講座 シリーズ「日本の劇」を予定しています。

8月 は、夏休み特別企画 子どもと親のワークショップを予定しています。

参加方法 入場は無料です。ただし、HP (<http://www.nntt.jac.go.jp/play>) または往復ハガキでの事前のお申し込みが必要です。

〈往復ハガキの場合〉

プロジェクト名(開催日時)、参加人数(2名まで)、お名前、電話番号をご記入ください。また返信ハガキの表には住所をご記入の上、

〒151-0071 渋谷区本町1-1-1 新国立劇場情報センター

「マンスリープロジェクト」受付係 までお送りください。

※1プロジェクトにつきお一人様1回の応募とさせていただきます。

※応募期間(締切)はプロジェクトにより異なりますのでご注意ください。

往復ハガキの場合: 受付開始日から締切日当日までの消印を有効とします。

※先着順に受け付けますので、定員に達した場合は締切日より前に応募を締め切ります。

お客様の情報は、本プロジェクトの緊急連絡や当劇場主催の公演等のご案内をお送りするため以外の目的では使用いたしません。